

☆大高生、地域の伝統行事継承に貢献！

大野市篠座に800年以上前から伝わるとされ、昨年に大野市の故郷伝統文化『おおの遺産』に認証されている「里神楽（さとかぐら）」が4/21夜、篠座神社で奉納されました。

「里神楽」は、五穀豊穰を願い、天狗や春日大明神にふんじた役者たちが軽妙な舞を披露するものです。また、神楽に先立ち巫女の「豊栄舞（とよさかえまい）」も奉納され、佐々木さん（1D）ら4人の中高生が巫女衣装を身に纏い厳かに舞を奉納しました。3月末に、巫女の舞を指導してこられた前宮司が急逝され、巫女の舞が奉納できるか危ぶまれましたが、佐々木さんら高校生2人が中学生2人をリードし、無事に大役を果たしました。高校生2人は、「宮司がいてくれるだけで安心できた。これからは高校生の私たちが後輩を指導し（舞を）継承したい。」と頼もしく語っていたそうです。

（以上4/23の『福井新聞』の記事より抜粋）

☆春季総体の前哨戦で大高生が活躍！

高校スポーツの最大のイベントである「インターハイ」の県予選「福井県春季高校総体」の前哨戦である「強化大会」等の大会が、土日中心に開催され多くの部活動が健闘しています。主立った結果を報告します。

- ・ 第66回福井県陸上競技強化大会(4/21)
 - 男子ハンマー投 優勝 佐木 司 君 (3A)
 - 男子やり投 優勝 神谷 京吾 君 (3B)
- ・ 福井県春季高等学校弓道選手権大会
 - 近的競技 女子団体 3位
- ・ 福井県高等学校バレーボール大会 (4/21・22)
 - 女子 決勝トーナメント出場
 - 男子 ベスト4以上確定

なお、大高男子バレーボール部は、中部日本大会出場、悲願の県チャンピオンを目指して、4/28の準決勝、決勝（試合会場：福井県営体育館）に挑みます。期待しましょう。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。